

事業所における自己評価結果

(別紙5)

事業所名		minamo		公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・基本的には個別療育を実施し、マンツーマンでのレッスンを各部屋に分かれて実施している。余暇時間などには、合流することもある。 ・小集団とペアでのレッスンも実施しているが、部屋の大きさに合わせた人数にとどめるとともにプログラム内容そのものでスペースが有効に使える活動になるよう工夫している。	・個別、ペア、小集団それぞれのニーズがある中で、どうしても利用希望の時間帯が重なる傾向にあるので、部屋の使い方やレッスンスケジュールの見直しは必要である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・同じ職種ばかりにならないよう工夫している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・療育室の名前を色分けしてお子様にお伝えすることで空間への認識はしやすいようにしている。 ・療育室への移動には階段の昇降が必要であり、必ず手を繋ぐことや、転落防止のためにも下段にスタッフがつくようにしている。	・手すりの設置は視野に入れる必要があると考える。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・入室不可の場所や危険な場所（階段やキッチンなど）については、間仕切りや柵を設置している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別での対応はできるよう静養室や状況によっては相談エリアも活用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	・実際のレッスン内容を用いての振り返りは個々と実施している。	・会社としての明確なPDCAサイクルの設定は準備中である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	・開業して半年の事業所なので今回が初めての自己評価となります。	・会社の年間スケジュールに組み込み、安定して実施できるようにする。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・社内のツールでの意見交換は常に持てる体制を儲けている。	・会議として実施できる機会を増やしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・必要に応じて実施の準備に着手する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		・研修の実施や受講については個々の判断での参加となっているので、会社として研修参加をバックアップできるようにする。 ・資格取得希望者へのバックアップ ・社内研修のスケジュール化	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3		・現在準備中である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・スタッフ間の意見交換の内容を総合的に分析して計画書に反映している。		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・お子様のことを第一に考えて支援することを前提にしたスタッフへの指導は徹底して実施している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・毎回、レッスン内容については児発管の指示やスタッフからの報告を行うようにしている。	・効率化を図るべきところは文面で。協議すべき部分は顔の見える会議ベースで実施できるようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・繰り返し取り組むべき内容についてはお子様が飽きないよう内容を工夫しつつも反復できるよう実施している。 ・お子様に合わせた教材提供も実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・シフト制なのでスタッフが一同に会しての会議は実施しにくい状況なので、社内ツールを活用し、協議すべき点、留意点や気づいた点などの共有は適宜実施できるようにしている。	・スタッフのペースの範疇での情報提示や共有になっている部分がある。 ・明確な会議を定期的に持てるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・即日システム入力を実施し、内容の精査・分析を児発管を中心に実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児発管が代表として参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・適宜連携の取れる体制づくりが順調に進んでいる。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			・それぞれのコアタムの差があることで時間調整に課題あり。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6		・就学を迎えるお子様がこれから出てくるので万全の体制を整える。

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		・センターとの連携はこれからの段階である。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		・今のところ予定していない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・相談支援を実施し、日常でもLINEでのやりとりを密に実施できる体制を取っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		・現在計画中。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時にご説明	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・契約時にご説明	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		・保護者会という単位は考えていないが、保護者同士の交流の機会を作っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		・十分な発信ができていないので、日常の業務を圧迫しない手段を考えながら発信できる体制づくりをする。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2		・ダブルチェックの徹底が必要。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・相談しやすい環境設定は意識している。(LINE、送迎時、スタッフの雰囲気など)	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・まだその段階に到達できていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3		・より良い状況を確認するための手直しを実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に実施	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・契約時に実施	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・契約時にご説明	・もっと明確に周知できるようHPなども活用していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	・随時報告、精査、改善策を熟考し、文面で残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時にご説明	